

の専門家が地域特有の災害や危機対応の知識や経験についての意見交換を行う場として、過去に何度も国際的なカンファレンスやワークショップを開催してきました。

2011年6月には、TIEMS第18回年次会議がルーマニアの首都ブカレストで開催され、25カ国から150名が参加、10月には中国支部の年次大会も開催され、日本国内から招待された危機管理の専門家による東日本大震災についての発表も行われました。さらに、近年では、危機・災害管理の資格認定プログラムTIEMS QIEDM認定を設けることで、国際的に統一された危機・災害対応の管理者の育成にも力を入れています。

TIEMSの活動は、危機・災害管理における活動を歓迎するものであり、より安全な世界に向けた協力と共同努力を求めます。

TIEMSの組織の原動力と推進力は各支部にあります。



各国の危機管理専門家との交流会（ルーマニア）

ます。TIEMSは「世界的に考え、地域的に行動せよ」をスローガンとし、実際に世界で活動中のTIEMSの支部はこれを遂行しています。

今回の日本支部の設立にあたり、私は日本の専門家と密に仕事をし、学ぶことを楽しみにしています。世界各地における新たな支部の広がりによって、その新たな専門知識と文化が、TIEMSの危機・災害管理の専門性と、より安全な世界に対する総合的な貢献の価値を高めることになるでしょう。

2011年に起きた災害

- * ブリスベンの洪水水位ピークに——1月
- * ブラジル洪水で数千人——1月
- * 破壊的地震ニュージーランドを襲う——2月
- * 巨大地震と津波日本を襲う——3月
- * 日本の原子炉にメルトダウン警告——3月
- * 放射能汚染水原発外部で発見（日本）——3月
- * 放射能汚染水限界の数百万倍（日本）——4月
- * 日本の原発災害チェルノブイリと同レベル——4月
- * 南部（アラバマ）の暴風雨による死者300人弱——4月
- * ミズーリの竜巻で89名死亡——5月
- * 大腸菌感染で6名死亡、数百名が吐き気（ドイツ）——5月
- * 火山灰雲オーストラリア航空を離陸不能に——6月
- * 豪華客船182名をのせて沈没（ロシア）——7月
- * オスロのテロ攻撃で76名死亡——7月
- * 国連ソマリア飢饉宣言へ——7月
- * 超特急列車脱線、車両橋下へ落下（中国）——7月
- * 地滑りで32名死亡、負傷者数十名（韓国）——7月
- * 巨大暴風雨ニューヨークを横断——8月
- * アイスホッケーチーム航空機墜落で死亡（ロシア）——9月
- * パキスタン洪水で死者200名以上——9月
- * タイの洪水首都に脅威——10月
- * トルコ東部で震度7.2の地震——10月
- * トルコ地震でホテル倒壊——11月
- * コルカタの病院火事で少なくとも89名死亡
- * フィリピン暴風雨で数百名死亡——12月
- * 洪水で千人以上行方不明（フィリピン）——12月

2011年～2012年 TIEMSの活動

- * ルーマニアのブカレストで年次総会を開催
- * フランスのアレスニム、フィンランドのエスプー、イラクのスレイマニヤでワークショップ開催
- * 中国の上海で中国支部第2回年次会議開催
- * 中国の上海で第一回危機・災害管理トレーニングコース開催
- * 中東、北アフリカ（MENA）、イラク、フィンランドにTIEMS支部設立
- * TIEMS会員のためのリサーチ・プロジェクト・サービスを設立
- * TIEMS国際教育訓練認証プログラムを開始
- * 2012年、TIEMS日本支部の設立が決定
- * 2012年8月にモスクワで「非常モード地震損害評価」に関するワークショップを開催する予定
- * 2012年10月にオスロで「宇宙の気候と現代社会の課題」に関する会議を開催する予定

2012年～2014年のTIEMSの活動予定

- * **TIEMS ワークショップ**
東京、日本2012年5月22日—23日
主題：「回復力ある社会に向けたアジア諸国の活性化」
- * **TIEMS 第19回年次総会**
エルビル、イラク
2012年9月16日—22日
主題：「危機管理—ライフサイクル・アプローチ」
- * **TIEMS ワークショップ**
モスクワ、ロシア
2012年8月19日—24日
主題：「非常モードによる地震被害予測」
- * **TIEMS 会議**
オスロ 2012年10月22日—24日
主題：「宇宙の気候と現代社会の課題」
- * **TIEMS 年次総会**
日本 2014年
新潟中越沖地震を悼んで開催の予定



TIEMS会長 ハラルド・ドラッガー

プロフィール／ノルウェー工科大学（ノルウェー）およびバドュー大学（アメリカ）を卒業。QUASER Invest AS マネージング・ディレクターとしてリスクマネジメントやプロジェクトマネジメントのコンサルティングを専門に従事。これまでに、世界銀行国際金融公社、NATO、欧州委員会を始め、数多くのコンサルティングを担当経験を持つ。1993年にTIEMSバイスプレジデント、2003年から現職となる。